

科目コード:130038

担当教員	米澤洋美、金子紀子、												
実務経験	地方自治体勤務経験のある教員が担当している。												
開講年次	2年次後期		単位数			1		授業形態			講義		
必修・選択	必修		時間数			15							
該当ディプロマ・ポリシー	(1)		(2)	○	(3)		(4)	◎	(5)		(6)		
Keywords	地域看護、公衆衛生看護、公衆衛生看護技術、保健指導、家庭訪問、健康教育、地域組織、地域ケアシステム												
学習目的・目標	【目的】 公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭・地域社会生活の場において提供する公衆衛生看護、地域看護援助方法を理解し、援助提供の場に応じた看護職の役割・機能を学習する。 【目標】 1. 公衆衛生看護における技術や対象理解、および対人支援活動の特徴を理解し、述べることができる。 2. 家庭訪問による支援の目的、方法を説明できる。 3. 健康教育の目的、方法を説明できる。 4. 住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を説明できる。 5. 地域組織活動および地域ケアシステムの構築の目的と技術を理解し、述べることができる。												
授業計画・内容													
回	内容												
1	公衆衛生看護における技術の基本と理論を学ぶ 1. 公衆衛生看護における対象の理解 2. 公衆衛生看護において活用できる理論												
2	対人支援活動の展開を学ぶ 1. 保健指導のおもな技術 2. 健康相談、健康診査の展開												
3-4	家庭訪問による支援の展開を学ぶ 1. 家庭訪問による支援の目的、特徴とその機能 2. 家庭訪問による支援の展開過程と実際												
5-6	健康教育の展開を学ぶ 1. 健康教育の目的と技術 2. 健康教育の展開過程と実際												
7	地域組織活動の理論と実際を学ぶ 1. 地域組織活動の概念・理論と組織づくりの方法 2. セルフヘルプ・グループや住民組織活動とその支援												
8	地域ケアシステム構築の理論と実際学ぶ 1. 地域ケアシステムを必要とする健康問題 2. 地域ケアシステムの目的と意義 3. 地域ケアシステム構築のための理論と手法												
教科書	標美奈子著者代表：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論（医学書院） 中村裕美子著者代表：標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術（医学書院） 松田正己著者代表：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院）												
参考図書等	荒賀直子他編：公衆衛生看護学.jp 第4版データ更新版（インターメディカル） 村嶋幸代編：最新保健学講座第2巻公衆衛生看護支援技術（メヂカルフレンド社） 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学総論（日本看護協会出版会）												
評価指標	定期試験 80%、小テスト20% ①保健師による保健指導の目的、対象を理解し、必要な対人援助技術を考察できる。 ②家庭訪問及び健康教育の目的と特徴、必要な基本的技術が理解できる。 ③地域組織活動と地域ケアシステムの必要性とそれに関わる保健師の機能と役割が理解できる。												
関連科目	地域看護学概論、公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ演習・Ⅲ・Ⅳ演習、公衆衛生看護学実習、コミュニティ政策論、公衆衛生学、疫学、保健統計学、保健医療福祉論、家族看護論												
教員から学生へのメッセージ	自分や家族の暮らしや生活を公衆衛生の視点で見つめて、地域の多様な人々の生活を考え、人々の健康のために看護の専門職として何をしたらよいか考えてほしい。今の自分だから見えること、思うことを大切にして、学生らしい広い視野と自由で柔軟な発想を活かして、勉強に励んでほしい。 講義において得た知識や技術を基本にして、公衆衛生看護方法論Ⅱ演習において公衆衛生看護活動の実際を習得します。さらに公衆衛生看護方法論Ⅲの基礎となり、公衆衛生看護学実習で体験することになります。												